

こんにちは 森林官です!

十勝東部森林管理署
上足寄森林事務所
首席森林官 高橋 智大



管内概要

十勝東部森林管理署は十勝北東部に位置する国有林約128千ヘクタールを管理し、中央を利別川が流れ十勝川に合流します。上足寄森林事務所は、このうちの十分の一にあたる約13千ヘクタールを担当しています。

森林事務所の特徴

当森林事務所管内は天然林が約7割で針葉樹はトドマツ・アカエゾマツ、広葉樹はミズナラ・シナ・カンバ類等との混交林で形成されており、人工林は約3割でトドマツ・アカエゾマツ・カラマツが主要樹種になっています。また管理区域には、阿寒摩周国立公園の一部が含まれ、昨今の登山ブームにより人気の高い「雌阿寒岳」や「阿寒富士」、五色沼と呼ばれる秘境湖の「オンネトー」等があり、春から秋にかけて大勢の観光客が訪れます。これらの場所は、

足寄町等地元の関係者と情報共有に務め、本署職員・GSS（グリーンサポータースタッフ）の協力による遊歩道の整備、危険木の処理等を行い、遊歩道等の利用者の安全確保を図っています。



オンネトーから見た雌阿寒岳(左)と阿寒富士(右)

森林事務所の仕事

当森林事務所では、春から秋にかけて山火事予防パトロールを実施しながら、地域住民や国有林への入林者に火の取り扱い等注意喚起を行いつつ、林道の点検を行い維持・修繕を実施しています。

国有林と民有林等との境界を管理する境界線の

巡視・調査や、森林の状況を把握するための地況、林況等調査、森林の生態と被害を調べるネズミの調査・エゾシカ影響調査・ヒグマ痕跡調査・希少野生動物の発見・報告等、生物多様性の森林づくりに配慮しながら業務に取り組んでいます。

今年度の業務での優先事項は、数年前から当署管内で大発生しているヤツバキクイムシによるカラマツ造林地被害の拡大防止のため、被害木の早期処分に向けて職員が一丸となって収獲調査業務を実行しています。



UAV(左)とハンディGPS(右)

この仕事では、UAV(ドローン)を使用して遠望・上空から被害地等の状況把握を行い、ハンディG

PSと図面を使って山中での現在位置や進行方向、調査範囲の確認を行うことにより、精度が高く効率の良い仕事ができます。

また最新の安全装備として、遭難した場合に備えて、ヘリコプター等に搭載された受信機へ電波を発信して位置を知らせるといった職員の命を守る心強いアイテムが導入されています。



遭難捜索ヘリサービスの発信器

終わりに

地元の皆さんとのつながりを持ち、理解と協力を得ながら、地域と国有林のパイプ役として貢献できるように業務を進めていくと共に、この自然豊かな森林を後世へ引き継いで行くために、日々精進したいと思います。